

令和5年3月24日

農業改良普及課  
技術経営指導関係グループ班長 殿  
関係各位

農業総合試験場  
普及戦略部技術推進室  
(作物担当)

## 2023 Aichi 麦作管理支援情報 第3号

- 気温は、2月5、6半旬を除き、平年並か高く推移しました。
- 作物研究部作物研究室の麦生育診断情報（農総試3月21日現在）によると、出穂期は、「きぬあかり」で、平年より3日から10日早く、「ゆめあかり」で4日から7日早いと診断されています。
- 気温が上がり降雨が多くなると湿害の発生が危惧されます。排水対策を行うことにより、出穂期と登熟期間の湿害を軽減できますので、明きよの点検と補修を指導して下さい。
- 令和4年5月下旬調査の県内10カ所20ほ場での巡回調査において、ムギ類赤かび病の発病穂率は7.48%で、過去10年間と比較して最も高い状況でした。本年も多発する可能性が高いと考えられますので、今後発表される予察情報等を注視していただくとともに、防除の準備を進めるよう指導してください。
- 病害虫の発生状況については、「あいち病害虫情報」を確認して下さい。<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/>

添付資料：令和5年産麦生育診断情報（第3報）愛知農総試作物研究部作物研究室発行

連絡先：農総試普及戦略部技術推進室 電話 0561-62-0085 内線 344

情報提供先：農業経営課技術調整G、園芸農産課稲・麦・大豆G、各農業改良普及課技術経営指導関係G、農業大学校、環境基盤研究部病害虫防除室、同病害虫研究室、作物研究部作物研究室、同水田利用研究室、山間農業研究所稲作研究室、愛知県経済農業協同組合連合会、愛知県農業会議、愛知県農業協同組合中央会、愛知県農業共済組合、愛知県米麦振興協会、愛知県製粉協会